

令和4年度 第3回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和5年2月14日(火)

午後2時40分から午後3時50分

場 所 木更津市役所朝日庁舎会議室E

出席委員 齋藤和利委員、加藤緑委員、中務公明委員、和田潤子委員、薄葉良委員、
森竹慎子委員、荒木弓夫委員、平野泰弘委員、水谷純子委員、鈴木義信委員、
水島亨子委員、鳥飼優子委員、鈴木清委員

1 開会

2 まなび支援センター所長挨拶

3 協議

①令和4年度まなび支援センター青少年指導関係活動報告について

②情報交換

〔事務局から説明〕

それではただ今から、令和4年度第3回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員14名のうち、出席者12名、欠席者1名(1名遅刻)過半数の出席がございましたので、会議が成立しております。なお、本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。

また、本協議会の会議録は木更津市のホームページ上で公開されます。

会議中、録音機により会議を録音しておりますので、ご承知おきください。

〈事務局〉

それでは、これから、協議に入りますが、木更津市まなび支援センター管理規則第3条第4項の規定によりまして、齋藤会長に議長をお任せいたします。齋藤会長どうぞよろしくお願いいたします。

〈齋藤会長〉

それでは、協議に移りたいと思います。協議事項といたしまして「令和4年度 まなび支援センター青少年指導関係活動報告について」事務局より説明願います。

まなび支援センター 青少年指導関係活動報告について説明

〈齋藤会長〉

それでは、本年度の報告について、ご意見等ございましたらお願いいたします。

本日の協議会は今年度のまとめであると同時に来年度に向けた建設的なご意見を頂ければと思っております。皆さんに意見を頂く前に、私の方から少しお話しさせていただきます。

まず、私は補導員としても活動しておりまして、今年度、JR乗車マナー指導を行いました。以前は車内で煙草を吸うなどの行為がテレビでも放映され、問題になりましたが、最近はスマホを片手に話しておらず、静かなものでした。久留里線では、席を譲ってくれる子もいたぐらいです。

学校での指導も良いのか、上り下り電車でも、とてもおとなしいもので、街頭キャンペーンで啓発物を

配布していても、迷惑な行為はみられなかった。

コロナも落ち着き、卒業式等でマスクを外すなど、子供達も活動しやすくなると、また皆さんの協力を引き続き頂いていくことになると思う。

〈中務委員〉

報告の中にあるネットパトロールで問題書き込みと見られるものがいくつかあったが、大体、自分の名前と学校名をあげてしまっているなどで、今、報道されている迷惑動画とあわせ、保護者も不安なところ。学校や各学級でも指導はしていきたい。

卒業式について、少し光が見えてきたが、各学校判断となっているのがもどかしいところでもある。マスクが取れた状態が望ましい。マスク1枚で人と人との距離の隔たりを感じてきた。

〈和田委員〉

SNSの使い方等については、中務委員と同意見。全世界発信だと思っていない。仲間内だけだと思っている部分がある。今の高校生は中学生からマスク生活であり、高校に入学してから、マスクを取った顔をお互いにあまり見ていないというのもあるのか、人との距離感の不器用さを感じることもある。けれど、全員、誰も経験したことのない制限のある事態で過ごして、何とかしようと頑張ってきたと思う。

〈薄葉委員〉

高校3年生が一番制約の多かった学年。卒業式のマスクは個人の判断とはしたが、高校に入って行事ができなかったなど、思い切りできなかった。学生らしく過ごせなかったと思う。

見回り等については、試験中の放課後等に駅周辺をまわっている。引き続き校外活動をしていきたい。

〈森竹委員〉

子育て支援課では妊娠期から相談を受けているが、原因は貧困など様々な要素が絡んできているので、関係機関と協同して対応していきたい。

〈荒木委員〉

民生委員はどうしても高齢者支援が多い。地域の事では、公園で20人前後の高校生ぐらいの子がサッカーをしていた。小さな子供も遊んでいたのも、気をつけるようにと声を掛けたが、どこまで注意しているものか難しいところ。

〈平野委員〉

木更津警察署管内の規模からすると、少年事件が多いが、木更津に居住している子かということ、そうでもなく、近隣市の子が、木更津で遊んで事件を起こす。自転車の盗難や万引きなど。エスカレートする事がないよう注意が必要。昔ほどではないが、深夜の徘徊なども見受けられ、引続き関係機関と協力していきたい。

〈水谷委員〉

家庭裁判所では、今年度、成人年齢の引き下げが大きな変化だった。裁判所への出頭や、親権者の変更など。木更津の家庭裁判所は館山まで管轄で、安房郡の少年事件で学校に行くこともある。

〈鈴木義信委員〉

木更津警察署少年警察ボランティアは、生活、防犯指導を防犯指導員として、月2回袖ヶ浦駅、木更津駅周辺を午後7時から街頭指導を行っているが、問題行為はない。

11月にソフトバレーの大会があり、子供達も活発に活動できた。10月に警察からの依頼で自転車の盗難が増加しているとのことで、駐輪場のパトロールをした。

〈水島委員〉

青少年相談員で清川中地区の小学生約60名で縄跳び大会を実施した。小学生の様子は、こういった所で見られるが、高校生がわからない。

〈鳥飼委員〉

子供達の遊ぶところが減ってきているのではないかと考える。公園でサッカーをしていたら、市のグラウンドなど子供が使える場所を紹介してあげられれば、健全に体を動かすことができる。

報道にもある迷惑動画については、困った問題。各家庭で指導できれば良いのだが。

家庭での指導という事では、性教育などもそうで、とても大切なことだが、家庭では話しづらい。日本での性教育の遅れを感じている。痴漢にあった時の対処法など、自分を守る事を教えていかなければならない。

〈鈴木清委員〉

こども会は、できない行事もあったが、ミニ運動会などを実施した地区もあった。11月に市のキャンプ場を使ったイベントにブースを出した。様々な団体が参加し、食べ物の販売もした。

県子連からの依頼で4市でのご当地カルタ大会を実施した。200名近い参加があり、来年度も是非、開催したい。

〈加藤副会長〉

SNSは世界と繋がっているのに、子供達の感覚では狭くなっていると感じる。内輪ウケで良く、とても狭い世界。

先程の荒木委員のサッカーの件は難しいと思う。子供が外で体を動かすというのは、とても良いが、問題は場所。小さな子供と公園に行って、ゲートボールをしていた方に注意されたと聞いた事がある。上手く使い合う事ができれば。

ただ、直接伝えるというのは重要で、学校に通報されてしまうと、先生から注意されてしまう。そうすると、子供が可哀そう。直接の問いかけが良い。

〈齋藤会長〉

子供の遊び場は大人も使うので、もう少し増えると良いと思う。

鳥飼委員の話にあった性教育について、学校ではどうされているか。

〈中務委員〉

保健体育のなかで指導している。助産師の命の教育の講演なども。小学校で実施していた時もあるが、現在はあまりない。

〈和田委員〉

高校も同じく保健体育の時間で、産婦人科医の話として、性病についてや、パートナーを大事にする事、デートDVについてなど。高校生は実際に被害にあったりする。自分には関係ないと思っているので、痴漢にあっても声を出せない子が殆ど。怖くて。日本の社会は、まだまだ男性視点が多く、嫌だと言えない女の子が多い。男の子への教育も必要。電車の中での盗撮も言い出せない。後で話を聞くと、いつも見かける人だったりする。同じ車両に乗る人や、朝、いつもすれ違う人など。

〈薄葉委員〉

同じく保健体育の中で指導している。避妊についてなども。高校生では遅いのかなとも思う。SNSで情報がたくさん入ってくると思うが、間違っただの多いとは指導している。

〈齋藤会長〉

家庭では中々、言葉にしにくいのかなとは思う。

子供達の遊び場についても、街づくり協議会等でも提案していきたい。

少年少女の主張でも、数年前のマスクの無い世界と、今の世界が同じとは思えないとの主張もあり、子供達も苦しい中、頑張ってきたんだと思った。

〈中務委員〉

マスクは取りたいと思っているし、卒業式も国からの通知が来ているが、外さない子供が多いと思う。けれど、卒業賞状は顔をみて渡したいと思っている。その為には、ご家庭の協力も必要。

〈齋藤会長〉

マスクを外せるかどうか、子供の成育に問題が無いのか心配。教育長の言葉にもあったが、子供達をもっと自由にやらせてあげなければいけない。

では、他にご意見等はありませんでしょうか？なければ、時間の制限もございますので、事務局へお返しして、私の方は終わりにします。

木更津市まなび支援センター所長の挨拶をお願いします。

内海所長あいさつ

〈事務局〉

貴重なご意見等ありがとうございました。

委員の皆様方のご意見を参考にしながら、まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。

次回、令和5年度第1回の運営協議会は令和5年6月20日(火曜日)を予定しております。どうぞ、よろしく願いいたします。それでは、これをもちまして、本日の会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。